資料 4

■第１回全体会（6/1）のまとめ

①景観部会

良いところ・素晴らしいところ

コミュニティ

・子供会のころから、近所（地区）のつながりはあると思う
・井戸端会議などで情報の流通は早い
・老人が老人を助けあっている
・歩いていると挨拶や話し掛けてくれる人が多い
・挨拶を思いのほかしてくれる人が多いと思う
・近所の人たちは、色々と気に掛けて面倒をみてくれる
・人が皆穏やかで、やさしく、子どもたちも皆良い子ばかり
・住民の意識が素朴であること
・道の狭さがいい（コミュニティ的に）
・店先で買物に来た近所の人と店の人が話している風景
・商店での会話が聞こえる
・信仰は厚いとおもう（高齢者が多いから）

利便性

・現在でも色々な人たちが今庄を訪れていることを誇りに感じる
・酒屋さんが多い
・個人商店が未だ生きており、本当に素晴らしい
・交通の要所に街があること
・ＪＲの駅、インターがあり、京阪神が近い←可能性にあふれている
・高速やＪＲの利便が良い

自　　然

・空気・水・食べ物がおいしい
・川がある、山が近い
・のどか
・自然の動物が見られる
・自然が豊かで歴史的ポテンシャルが高く、将来展望が開ける
・山の際がすずしい
・四方を山に囲まれていて、美しい四季の変化に富む。四季を感じる
・朝は朝らしく、夜は夜らしいところ

ファミリーマートも24時間でない

悪いところ・問題点

コミュニティ

・人口の流出が進み、人口が減っている原因を人事のように考えている人が多い
・いろいろな意味でポテンシャルが高い地域であるにも関わらず、地元住民の関心が薄い
・気に掛けてくれる半面、ちょっとした噂がすぐに伝わる感じがする
・各地区にお寺やお宮があり、守っていくのが大変
・人見知りで、観光客をものめずらしそうに見ている
・行事が多く、昔ながらにとらわれている
・住民の意識が取り込み思案であるところ

危機感がありながら、一歩前へ出ないことが多い

利便性

・豪雪地帯にあるため、雪対策がいまいちであること
・勤務地が遠くて、若い人はかわいそう
・若い人たちが帰ってきたくなる街にならないといけない。町の努力が足りない
・住民の方の大勢が良さに気付いていない

観　　光

・おみやげを買う所（店）が少ない
・店が少ない
・観光資源が年配向け
・散策するのみで楽しみがない
・今庄の特産品
・土産物が今庄駅にしか置いていない
・街なかに公衆トイレがない

まちづくりのアイデア等

コミュニティを大切にする

・気軽に近所の人が立ち寄れる場所を作る
・今庄にある物、文化を地域資産として活用するための住民運動をおこす
・景観をこわさずに、子どもたちの遊び場も作って欲しい

景観を議論する前にこの街のあり方を話し合うことが大切

どのような「街」にすると良いか？

将来ビジョンが見えないことが、地域住民の大きなテーマ

みんなで将来ビジョンを考えてみよう！

このＰＪを機会に参加型ＰＪを推進すると良い

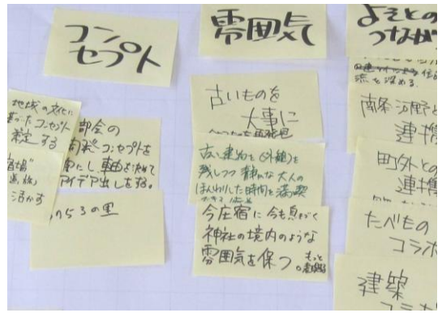
その他のアイデア

・立橋がつかえそう（視点として）
・日曜になるとよく鉄道マニアの方がカメラを構えている。マニアの方が休憩できるスペースを！
・小さな町であることを活かし、高齢の方でも気軽に散策できるルートを作る
・写真や俳句などを趣味とする人の集まる街になるはず
・今庄を江戸時代の本陣であったことをテーマにして売り込む
・今庄地区にある駅、高速のインターチェンジ毎に、案内様式を設置する
・シンボルスポットがあると良い
・水路の中を歩きたい
・

■総評（野嶋先生）

・景観部会の発表では、「守るべき景観は何か」という重要な投げかけがあり、もう一度まち歩きで再発見しようと言う提案が良いと感じた。
・次世代への贈り物という考え方もとても良いこと。例えばこんなことはどうか、という具体的なデザインをやってみても良いのではないだろうか。

②店舗部会



良いところ・素晴らしいところ

人
- 親切
- 住民さんがやさしい
- みんな県に期待
- 人との繋がりが良い
- 人があたたかい
- 住民さんのほうから話かけてくれた

暮らし
- 子供を育てるのは良い
- 生活感がある

交　　通
- 電車・高速が近い
- 交通のアクセスが良い

歴史・街並み
- 文化財（歴史）が多い、歴史が古い
- そば・つるし柿・ＳＬ・宿場町など、宝物・資源がたくさんある
- 見て、聞いて、触れて地元の方との地域密着の環境・文化事業
- 山・里・食・観・健・文が溢れている
- 今庄の街並、街道の情緒が残っている
- 古い建築、神社・寺がいっぱい
- 路地（ずし）が魅力

自　　然
- 自然が豊か、自然が身近
- とても静か
- ハイカーが多い
- ハイキングコースが人気
- 四季の自然がすばらしい

食
- 古い企業(酒蔵)がある
- お酒がうまい！　造り酒が通りに４軒ある
- 山菜・魚介類がうまい
- 食事がおいしい

高速がすぐ近くにあり、観光客はきやすい

コミュニティビジネス、田舎ビジネスの創出の可能性

悪いところ・問題点

- 若者の就職先が少ない
- 雪が大変
- 過疎
- 若者が定住したいと思う宅地が少ない
- 若者が出て行く
- 子どもの数が少なくなっている

雪対策をプラスに考える何かがないのか？

- 地域の住民の意識が低い
- 町民の協力が悪い
- 地域の協力が少ない
- 行事に若者の参加が少ない

- 夜・街並みが暗い
- 移動型・都市型・農村型
- 活気ある店舗が少ない
- 地域の良さが伝わらない
- 店に入りにくい
- 今庄宿らしい楽しみ方が街道を歩いていても伝わってこない

今庄宿とは何か？という定義の共有がない

- 空き家、空き地が多い
- 駅前がすぐ空き家
- 密集しているだけに空き地が目立つ

新幹線の客を呼ぶというのに電車の本数が少ない
- 案内看板がない
- 滞在型・日帰り型の連携が少ない
- 子連れの観光に向いてない
- 観光客が立ち寄る場所がない
- 娯楽施設がない

地域観光と魅力ある観光集客型の宿場町の活性化の可能性

食農･連携がない

イベントをしてもなかなか長続きしない

まちづくりのアイデア等

コンセプト
- サービスのコンセプトを明確にし、軸を決めてからアイデア出しをする
- ０７５３の里
- 地域の文化に基づいたコンセプトを策定する
- 宿場（道・旅）を活かす

雰囲気を大切に
- 古いものを大事に　今あるものを再発見
- 古い建物を（外観）を残しつつ静かな大人のほんわりした時間を満喫できる街並み
- 今庄宿に今も息づく神社の境内のような雰囲気を保つ。もっと表現する

お店・商品・催しの工夫を！
- 魅力的なお店
- 各商店が集合して販売する場所
- 売り物にできない野菜を安く売る市場、町の特産品もフリーマーケット
- ＦＦを、ビリヤードや卓球などの場所に！
- お祭りでお店を出す

- 商品力を高める
- 街を散策するときに、持ち歩ける食べ物開発

- 体験を売る
- イベントにボランティアを集める企画

具体的なアイデア

アート
- アートを呼び寄せる
- 空き家を使って若いアーティスト（音楽・絵画・彫刻）

酒・酒蔵
- 四つの酒蔵の新酒会
- 酒蔵リッパ→コミュニケーションの場にできないか？

MAP
- 寺・神社 MAP
- パワースポット MAP
- 不思議なところ MAP
- ロード（商店）MAP

一点に集中し、マップ等をまず一つきっちり完成させる

空家等
- 空家、空き地の活用
- 駅前に施設
- 空き家を使っての食事会や演奏会
- 空き家改修(床張ります)
- 一年中楽しめる場所にする

集う！
- 住民自身がつどう場所、休憩場所をつくる（空き家を利用してもよい）
- ランチ、寺社カフェ（おにぎりとお茶でたむろする）

コラボ
- 周辺地区住民の交流を深める
- 南条・河野との連携、武生とか敦賀との連携
- 食べ物のコラボ
- 建築コラボ

人にやさしく（旅人と住民の交流）

観光客が笑顔でいてくれる町！（町民・子供たち）

自分でやろう！
- 情報発信
- 自分でやれることをやる
- 低コストで、個人レベルでやれることから

みんなでやろう！
- 一つの目標に向かっての町民の協力
- 同じ世代に声をかけて一緒にやる

■総評(野嶋先生)

・コンセプトを明確にすべきという提案は、まさしくその通りであり、プロデュースにも関わる重大なことである。生活文化に根差したまちづくりの視点は重要であり、大型バスで人が大勢来る観光地を目指した結果、苦しんでいる事例は沢山ある。

③歴史部会

良いところ・素晴らしいところ

住民の方の優しさ
- 高齢者に対してG．Gが安い（設備の充実）
- 遊びの対象としての自然に恵まれている

きれい
- ごみごみしていない
- 軒下のお花（自由にお持ち帰りくださいにはびっくり）
- 家庭のごみがあまり見られない

自　　然
- 四季を感じられる（自然豊か）
- かたくりの生地
- 水・空気がうまい
- 自然が豊富
- 自然が残っている
- 青葉が多い
- 山あいの立地が good
- 自然が身近
- 水資源が豊富（きれい）

古い家屋・歴史
- 八百屋・問屋などのお店が残っている
- 古い町並みがある、古い町並みが残っている
- 古い家屋が残っている、歴史的な雰囲気の残る民家
- 建物のつくりがかっこいい
- 伝統的民家の数が多い
- 雪よけの板（雪囲い）
- 空き地の使い方が上手い
- 緑がいっぱい
- 歴史がある、歴史的なものが多い
- 歴史が感じられる蔵が多い
- 知名度はある
- 特産品がある、昔ならではのお菓子（ぽん菓子）

融雪装置と舗装が凸凹

・お寺が多い
・寺社が多い
・神社の数

多様な顔（特徴）を持つ路地

散　　策
- ハイキングコース
- 林道でつながる寺社
- 林道の散策コース（犬の散歩をしていた）
-

鉄　　道
- 軒下のベンチ
- 電車を間近で見れる

交　　通
- 交通の便が良い

悪いところ・問題点

人
- どんどん人口が減っている
- どんどんすたれている
- 30 歳から 40 歳の人間が少ない
- 子どもが少ない
- 子どもの声がしない
- 公園・道路などで遊んでいない
- 高齢者が多い（少子化が進みすぎ）
- 65 歳以上の高齢者が多い
- 高齢化が進んでいる
- 人口が減っている

住民が町の歴史を知らない

仕事
- 仕事が少ない
- 働く場所がない
- 仕事がない
- 職場がない

生活店舗
- 食糧品店が少ない
- 日曜日の商店の休み
- 良いものが目につかない
- 古い町並みがなくなりつつある
- 古い物を大切にする気持ちが弱い
- 小学校跡地が駐車場なのはもったいない

空き地
- 空き地が多い、目立つ
- 空き地の雑草
- 倒壊し始めている建物がある
- 土地が自分のものでない
- 空き家の持ち主は県外に住む人が多く、連絡に苦労する
- 伝統的民家と住宅の差

その他
- 雪が多い
- そば屋が少ない

まちづくりのアイデア等

■歴史・文化
○「看板」　その場のエピソード　歴史説明
○歴史文学賞の創設
○今は家の家号などあまり若い人に言わないが、家号を掘り起こす
○昔の写真
○小学校・中学校で文化部のクラブ・歴史クラブを作ってもらい今庄の歴史を勉強する
○80 歳台の老人がいる間に昔の今庄の歴史を聞きほりおこす
○山道の整備
○家など（蔵を含む）解体する時は歴史部会も中に入って解体をなんとか回避する

■イベント・散策など
- 酒豪さんのおみやげセットを作ったら？
- 現在来ている客に今庄でお金を落としてくれるシステム
- 雪のウォーキング
- 今庄〇〇の提案
- 今庄の魅力の更なる発信
- 空き地を公園化
- 小学校跡地にアイストップを！

■鉄道
- 撮り鉄スポットの提案
- 駅前にＤ５１を！

景観整備
- 融雪装置と下水工事の継ぎ目をきちんとして水がなめらかに融雪できるようにする。又は道路を直す。能川宿みたい？又は石畳に？
- 石畳にする
- 景観保存の決まり（条例等）をつくる
- 景観の統一性の確保

水　　路
- 水路に水を流す

今庄まつり
- 今庄祭にちょうちんを出しましょう！
- 今庄まつりをもっと盛大に
- 今庄宿マップ

いつも通りの祭りを今の時代に合わせて変えて欲しい

今庄の店で買物をしよう

子どもが増えたら良い

地元の商店を育てる

■総評（野嶋先生）
- 歴史部会の発表では、水路や祭りの復活などの提案が魅力的だと感じた。
- 鉄道も可能性があるのではないか。イギリスなどでは産業遺産として鉄道の遺産を大事にしている。今庄が大きく発展し賑わった時期と鉄道が活躍した時期は重なるのではないだろうか。
- いわれなどを発掘し、きちんと整理して記録にまとめると重要な価値をもつものとなる。

④誘客部会

ヒストリカルよりノスタルジーやしトロなイメージ

・今庄宿を散策しながら宝さがし
・お家の蔵から宝物探し（歴史的なもの）

ゆるキャラ

・歴史スタンプラリー
・子どもたちを中心とした路地を使えるゲーム・ワークショップ

『サンダーバード』と『しらさぎ』が停まらない

線路によって町が二分されている

良いところ・素晴らしいところ

特産品

・にしん漬け、山菜がおいしい
・つるし柿・そばなど 400 年の歴史を持つ特産がある
・特徴的な特産物が結構ある
・今庄独特の料理がある（山菜・茶めし・そば団子・今庄すずめ）
・今庄特有の食物（鮎・ちまき）

連携・コラボ

そ　ば

・蕎麦屋さんの雰囲気が良い
・名物今庄そば
・蕎麦屋が多い

そば・山菜にこだわりすぎ

酒蔵

・居酒屋がすばらしい
・造り酒屋さんが多い
・酒屋が４つある。ビールケースごとビールをすぐ入手できる
・酒蔵の大きな看板、威厳があって格好良い
・伝統的民家づくりの店舗が残っている
・コンビニや国道そばの大型店に侵食されておらず、個人商店が多い

酒屋めぐり！

歴史・街並み

・昭和会館は使える。歴史的にも興味深い
・古い建物が残っている
・作られた建物がない
・寺・神社が結構多い
・人口当たりの寺の数が多い
・霊験あらたかな地である（宗教施設）
・古く歴史のある寺・神社が多く残る
・歴史的建物が残されている
・歴史についての看板(木製)があちこちにある
・家から数秒で伝統的な街並みを官能できる
・建物の様式が統一されてない所がまた良い
・細い路地が多く残り、利用できたら良い
・街並みの面白さ
・歴史がある（街道・造り酒屋など）
・歴史上の著名人物が多数通った(推測)
・路地に入れば迷路みたいで面白い
・空き家が魅力的
・可能性を持つ古民家が多い
・街の中を水路が網羅している
・下駄履きで街を歩くと雰囲気でそう
・路地・水路・坂道でつくられる景色が良い
・他の宿場町と比べても生活観を感じさせる
・車がスピードを出せないためかえって安全（短折）
・忙しさを感じないのんびりとしたやさしい雰囲気
・水の音、鳥の音、生活音が聞こえてくる
・お祭りが多い
・小学校

山本周五郎がはたで小説を書いた

中世時代より道路の改修が行われていないとこがすごい！

昔の写真でお神輿の様子を見たけど楽しそう

自　然

・夏の蛍
・自然がいっぱい
・かたくりの花
・燧ヶ城跡の眺めがきれい（山登り客が多い）
・自然が豊か（山菜等）
・静かで落ち着く
・水がきれいでおいしい
・谷川からの水が豊富
・水がきれい
・夜は静か

カメ虫が多い

・日野川をきれいにして鮎釣り客を増やす
・お花を植える

今庄の自然をもっとゆっくり感じられる工夫（夜叉ヶ池・スキー場・朝倉道・かたくりハイキングコース）

人情・コミュニティ

・住民が素朴・親切
・人情がある人が多い
・人が良い（人情面）
・観光ずれしていない
・俗化していない
・町内の地域活動が協力的
・人間性が良い
・親切な人が多い
・まちあるきをしていると声を掛けてもらえる（お庭仕事の方・学生さん）
・食糧品店などで井戸端会議をしているところが見える

・観光用の案内所
・道沿いに飲食店が欲しい

その他

・駅が近い、中心部に駅がある
・北陸自動車道のＩＣがある(近い)
・Ｄ５１で鉄道の宣伝をしている
・ＪＲ、高速など、交通の便が良い
・鉄道遺構を楽しめる

D51を動かす！

悪いところ・問題点

暮らしの利便性

・人口が減っている
・不便である、スーパーがなく不便
・多雪地帯に引け目を感じている人が多い
・雪下ろしがネックで空家壊す例が多い
・駅周りが閑散していて電車で来ると淋しく感じる
・商店が早く閉まってしまう

・路上駐車
・街中に駐車場がない
・わき道が狭い

移動販売車！

人が減少している

・人口が減少（増やす）
・空き家が多く、増加
・謎の空き地が印象悪い
・空き家がほったらかし
・町としてのゴールが不明
・若者にリーダーシップや行動力がない

週末に空家を利用してものづくりコーナー

もてなし不足

・案内板の劣化
・民宿が少なすぎ。宿らしい宿が少ない
・門や塀で閉じている歴史的建造物
・観光客が休める場所が少ない
・客が来ても売るものが少ない
・サイクリング利用料が高い
・商店街にある商品に魅力がない
・観光客用のトイレが少ない

南条SAでの観光PR

今庄駅を集客できるほど活性化

街の中にそば・つるし柿・ちまき等の体験施設

・ゲストハウスを作る（素泊まり宿）
・騒げる場所を作る
・ＦＦで観光案内・特産品販売

かたくりの季節には色々なグッズを販売(花言葉／初恋を連想させるもの)

そば団子等、個育の食品を販売

働き場がない

・若者が働ける会社が少ない
・高校～大学生の姿をあまり見かけない
・若い人が出て行く（雇用が少ない）
・高校進学が町を出て行くことを意味する

県内外の学生が気軽に利用できる施設（宿泊・学習）

人の目を気にする

目立つ事をする人を批判する
・人のことを気にする
・封建的な考え方が多い
・住んでいてつまらない
・住民同士のコミュニケーションがない
・土地所有・建物所有など面倒くささ

女性は区長になれない

自慢できる祭りが少ない

中途半端な祭り・イベント

昔のような今庄祭りの復活

住民がコミュニケーションできる施設(空家利用)

■総評（野嶋先生）

・ソバ、酒蔵、特産品をそれぞれでなく三位一体で取り組むアイデアが良いと感じた。
・それぞれを物語で一つにつないで人を惹きつけるように提案していただきたい。

⑤空家対策部会

良いところ・素晴らしいところ

自　　然
- 豊かな自然
- 山・川・水

立地環境
- 都会に近くていい
- 電車が便利

街並み・暮らし
- 街道の奥の裏路地の民家が良い
- ゆったりした中での暮らし→お店の店先で会話している人がいる
- 酒屋さんが立派な古民家
- 細い路地は歩きたくなる
- 緑豊かな空き地
- いい空き家がいっぱいある
- 空き家の中には鉄道の給水塔もある
- 旧国鉄遺産
- JR も空き家　ターンテーブルも
- 高齢者が自主的に見守り隊をしている
- 蔵をギャラリーにしている家があった
- 人工的ではなく、自然な形で街並が残っている
- 1000 年の歴史（お寺）

悪いところ・問題点

- 若い人は地元が嫌い
- 良いところを知らなすぎる

- 雪

- 雇用の問題、働く場がない

- 駅前に観光案内がない

まちづくりのアイデア等

『空家をどう使う？』

今庄は借地が多いのも関係

- 空き地に景観の合う賃貸住宅を！！
- 空き地にモデルケース的な住宅を建てる
- 一定間隔で休憩所 or お店・フリースペース
- お年寄りが働ける店・場所
- みんなのためにみんなで運営する店
- そこでとってきた鮎を食べられる店
- あなただけの（観光スポット・料理人・景色・お酒）
- 地産地消の料亭（今庄は地酒が基本）

今庄でも一流品が売れる！

量よりも質

会員登録などのアイデア

付加価値を！

定住促進？観光？

観光地だけでは無理

観光とライフスタイル（生活できるサイクル）の両立

- 若い子が住めるように
- まちとの関り
- Uターン

住宅政策もちゃんとすべき

成功事例をつくろう！

歴史などを踏まえながら、空家や空き地を一つひとつ、丁寧にプロデュースしてみたい！

暮らしの豊かさを追求・発信

とりあえず、まちあるきをして現状や活用の可能性を確認しよう！

6/23(日) 15:00～

空家対策を進める上で・・・
- 空き家に寺社も入れる
- 空き家という発想ではなく本来あるべきものを創造して発案すると良い
- 空き家を遺産・宝物と考える
- 住む家と店舗を区別して考える
- 空き家、空き地をいくつか連携させて活用してみる
- 空き家・空き地を希望者が求めやすくする
- 地主さんにアプローチする（売りたい地主もいる）

■総評（野嶋先生）
- 空家対策部会の発表では、まちを歩いてこの空家は活用できるのではないか、こんな活用方法はどうか、と具体的に提案、プロデュースしていこうという提案が良いと思った。
- 活用が難しい場合であっても所有者の悩みを手助けできるような提案ができると良いのではないか。

その他のアイデア
- 今庄駅舎を街並に合わせる
- 酒屋４蔵での立ち飲みをする
- 街道沿いの家の窓に格子をつける
- 駐車場はなるべく際へ（空き地は×）